

INNOVATOR WANTED

第4回日経アジアアワード推薦受付のご案内



大賞賞金500万円

— 受付締切: 2024年6月16日(日) —



インドネシアのECプラットフォームが第3回アワードを受賞

NIKKEI ASIA AWARDは、日本経済新聞社が主催する受賞プログラムです。多様な価値観に基づく「アジアの視点」から「アジア発のイノベーション」を選出することで、アジアと世界の変革を促し、自由で豊かな経済社会の実現に貢献することを目指しています。

NIKKEI ASIA AWARD 2023 を受賞したインドネシアのスタートアップ「エバモス」社は、現在インドネシアの人口の9割近くを占めるイスラム教徒に特化した通販サービスを提供しています。今回の受賞は、職に恵まれない地方都市の女性などに雑貨や食料を販売する事業主になってもらうことで雇用を生み出すなど、女性の経済的な自立を支援していることが評価されました。



👑 2023年受賞者 👑

世界を変える「アジア発」のイノベーションを支援

第4回NIKKEI ASIA AWARD 候補者の推薦要項

応募方法	第4回NIKKEI ASIA AWARDの候補者推薦は、本アワードの公式ウェブサイトにて2024年6月16日(日)まで受け付けています。所定の推薦フォームより日本語または英語でご応募いただけます。なお、推薦は他薦のみで、自薦は認めていません。
応募資格	候補者は次の条件を満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none">・推薦は他薦のみで、自薦は受け付けません。・アジア地域でスタートした、アジアを拠点とする活動をされている、アジア出身者または居住者 ※日本人の個人と日本人のみで構成される団体は除きます。 日経アジアアワードでは、以下の地域を「アジア」とします。 <ul style="list-style-type: none">・東アジア(朝鮮半島、中国など)・南西アジア(インド亜大陸の国々)・東南アジア(インドシナ、ASEAN加盟国など)・太平洋地域の独立国
審査基準	受賞者選考は、次の審査基準を満たす活動の総合評価となります。 <ul style="list-style-type: none">・新規性かつ革新性があること・地域の活性化や生活の向上など自由で豊かな経済社会づくりにつながること・活動や事業に継続性があり、今後の成長や拡大が見込まれること・社会的な影響力があり、グローバルな展開が期待できること
留意点	<ul style="list-style-type: none">・現役として活躍している方が対象です。・進行中の研究やプロジェクト等も対象となりますが、業績や成果の評価がある程度定まっている方をご推薦ください。・地道な活動を通じて人々の共感を呼ぶような実績をあげている方の発掘を歓迎します。 ※ノーベル賞や京都賞などの受賞者は避けてください。

審査のステップ



※上記スケジュールは予告なく変更されることがあります。

審査体制



御手洗 富士夫
キヤノン株式会社
代表取締役会長兼社長 CEO



ブラーマ・チェラニー
インド政策研究センター
名誉教授



林 佳世子
東京外国語大学
学長



飯島 彰己
三井物産株式会社
顧問



木谷 哲夫
京都大学 産官学連携本部
IMS起業・教育部長
特定教授



北岡 伸一
国際協力機構 (JICA)
特別顧問



中尾 武彦
みずほリサーチ&
テクノロジーズ株式会社
理事長



ソムギヤット・
タンキットワニッチ
タイ開発研究所
所長



ジョン・ピゴット
ニューサウスウェールズ大学
CEPAR ディレクター

